

# 私の決意

参議院選挙 沖縄選挙区 予定候補



**山**シロ博治

普天間基地を「国外、最低でも県外」に移設することを県民に公約した鳩山前総理の裏切りに、沖縄の怒りが全県下を覆った。この裏切りは、総理大臣の首がすげ替えられれば済むという問題ではない。県民が最大の悲願とした政治課題をかくも軽々に弄び、放り投げた責任は重大である。県民は決して許さない。政府は、そのことを深く認識すべきである。

しかしながら、総辞職をした鳩山内閣の後を受けて、にわか誕生した菅総理は、県民の怒り、悲しみを受け止めるどころか、沖縄の長年にわたる過重な基地負担に「感謝の念を深めることから始めたい」と所信表明した。悲痛な県民の想いに塩を塗りつけるような新総理の沖縄に対する認識に啞然とし、強い怒りを覚える。

私は、このように県民を愚弄してやまない政府の政治姿勢を許すことができない。

沖縄は日本政府の植民地ではない。沖縄県民に日本国民としての正当な権利が付与され、真つ当な人間として扱われる。そのような政治を実現するために、この大事な参議院選挙を通じて訴え、勝利するまで闘い抜きたい。



福島みずほ党首との街頭演説(6月13日うるま市)

## 山

シロ博治さんを推す

衆議院議員 照屋 寛徳

**山**シロ博治さんは、情熱家で行動力と先見性がある。論理明解な雄弁を揮う一方で涙もろい人情家だ。

その**山**シロ博治さんが七月十一日の参議院選挙沖縄選挙区に立候補を予定している。社民党は、**山**シロ博治さんを推薦決定した。私も全力を尽くして応援する。

**山**シロ博治さんは、自治労沖縄県本部副委員長、沖縄平和運動センターの事務局長の要職にある。普天間に、辺野古に、東村高江に、沖縄各地の闘いの現場に常に**山**シロ博治さんが居る。いや、平和運動のため全国を飛び廻っている。

実は、**山**シロ博治さんは、前原高校の後輩であり、うるま市(旧具志川市)の同郷の間柄である。

今回の参議院選挙は、沖縄差別に反対し、辺野古新基地建設反対の大義を賭けた大事な選挙である。

沖縄選挙区は**山**シロ博治、比例区は**社民党**へのご支援・ご支持を心からお願い申し上げます。